

4-3 2015年5月30日小笠原諸島西方沖の地震 Earthquake west off Ogasawara islands on May 30, 2015

防災科学技術研究所
National Research Institute for Earth Science and Disaster Prevention

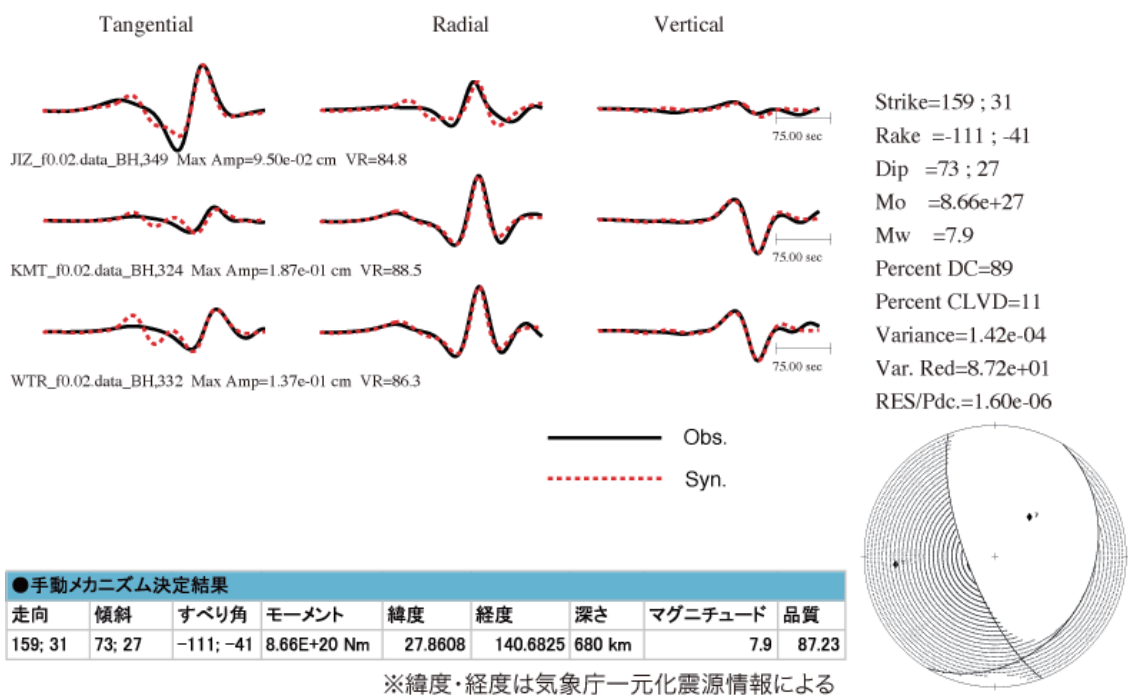
2015年5月30日午後8時23分頃、小笠原諸島西方沖の深さ680 km付近を震源とするMw 7.9の地震が発生した。第1図に防災科研F-netによるモーメントテンソル解の推定結果を示す。東西方向に伸長軸をもつ型に推定されている。また、防災科研Hi-netシステムによって、F-netのモーメントテンソル解と同等の初動解が得られている。

図2はF-netによるモーメントテンソル解カタログから、小笠原西方沖の地震の周辺で発生した過去の地震のモーメントテンソル解を示している。今回の地震の震源付近はこれまで地震の発生が見られない領域である。また、今回の地震より約200 km浅い、深さ500 km程度で発生する地震は、太平洋プレートの沈み込み方向に圧縮軸を持つ型であるのに対し、今回の地震はそれとは異なっている。

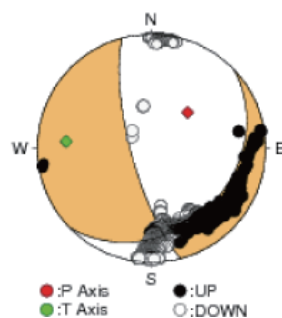
(木村武志)

謝辞：Hi-netシステムによる初動解推定には、防災科研Hi-net, V-net, 相模湾OBSのほか、気象庁、青森県、東京都、静岡県、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、京都大学、名古屋大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国土地理院、海洋研究開発機構、産業技術総合研究所、神奈川温泉地学研究所の観測データを使用しました。記して感謝致します。

F-netによるメカニズム解

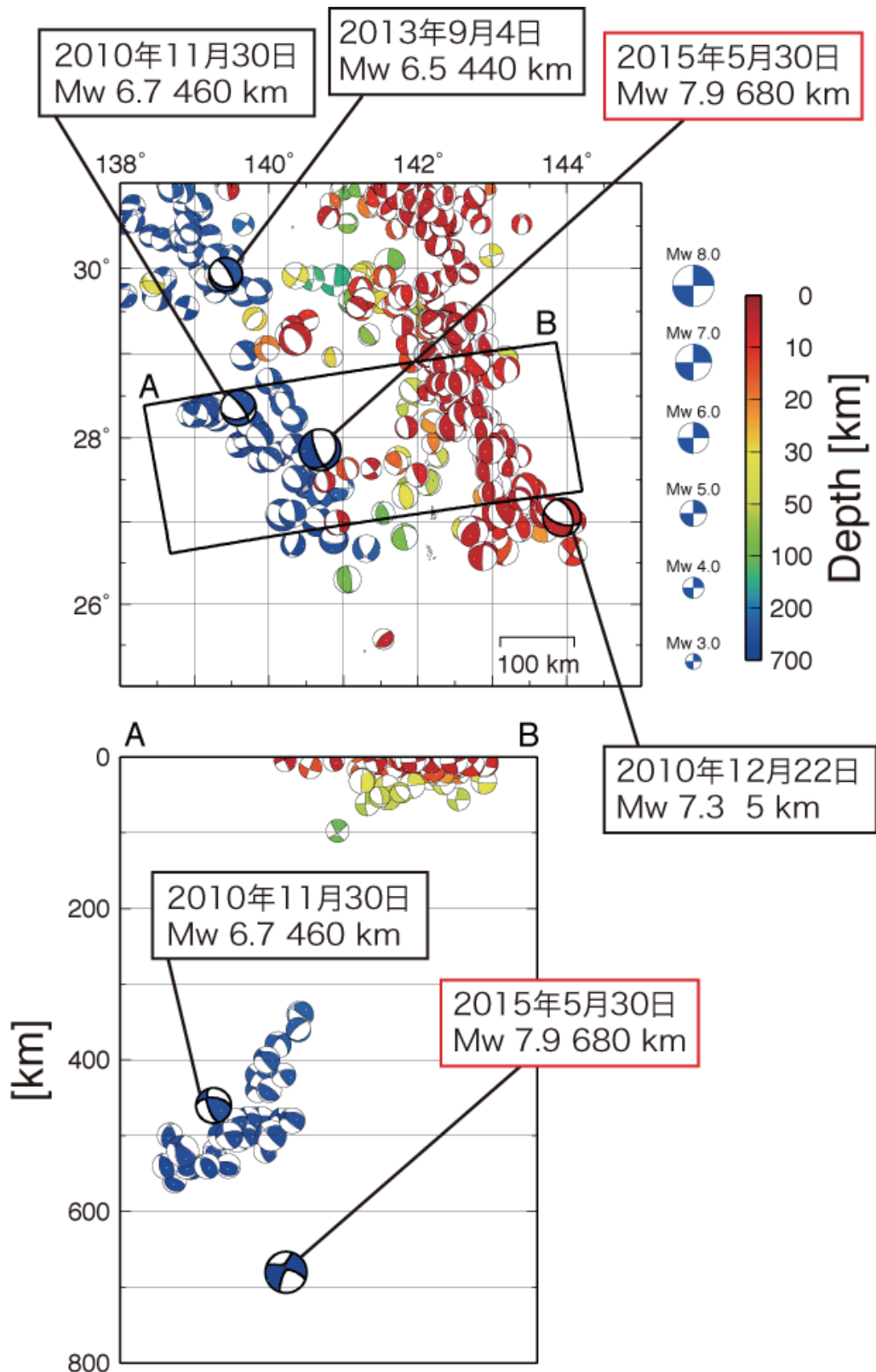


Hi-netシステムによる初動解



第1図 防災科研 F-net による小笠原諸島西方沖の地震のモーメントテンソル解と Hi-net システムによる初動解。

Fig.1 Focal mechanisms of the earthquake west off Ogasawara islands on May 30, 2015, estimated by NIED F-net and Hinet.



第2図 F-net モーメントテンソルカタログによる本震周辺の過去の地震のメカニズム解.

Fig.2 Focal mechanism distributions of earthquakes which occurred around the earthquake west off Ogasawara islands on May 30, 2015 determined by NIED F-net.